

講演会型(幼・保・小・中学校)

学校名等	兼山保育園、かわい幼稚園、今渡幼稚園、桜ヶ丘小学校、南帷子小学校、東明小学校、中部中学校、西可見中学校
実施日時	令和3年12月6日(月)
会場	可見市福祉センター
参加人数	73人
学習課題(分野)	子どもの心に関する講座(10子どもの心)
運営者の願い	子育て中の保護者を対象にした「情報モラル講座Ⅰ・Ⅱ」「命・性に関する講座(小中学校保護者向け、幼稚園・保育園の保護者向け)」「子どもの心に関する講座」の年間5つの講座を開催することにより、子育ての内容について学んでほしい。

学習の内容

<1. 可見市子育てまなび講座の流れ>

- (1) 市主催の講座を、年間5回計画して、案内チラシを作成する。
- (2) 各小中学校の家庭教育学級が、希望する講座にエントリーする。
- (3) 市の担当で講師の手配、謝金、講演会場の設定、駐車場の確保などをする。
- (4) 当日は学級ごとに受付し、開催する。
- (5) アンケートを回収する。



<2. 第4回子どもの心に関する講座>

<講師>スクールカウンセラー・スーパーバイザー

<演題>「コロナ禍を経たこれからの子どもとの関わり方」

<内容>

【子どもの同伴にも配慮した床マットの設営席】

- ・子どもの不登校、自殺、ゲーム依存の実態
- ・潜在的リスクの表面化—不安の強い子どもたち、集団不適応・集団不必要、ストレス耐性の脆弱さ
- ・同じもの、同じ出来事でも人によって意味合いが違って来る。相手の文化を理解する必要がある。
- ・不安やストレスはゼロにはならない。不安と付き合うことが大切。
- ・距離を上手く取れない子ども達、近づけない人・近づきすぎる人、
- ・ストレス・怒りの発散、外向き・内向き・逃避など、正しい発散方法を見つける。



【途中でリフレーミング演習】リフレーミング辞典をもとに、書き換えたい語をリフレーミングすると・・・

- ・消極的な→周りの人を大事にする
- ・調子に乗りやすい→雰囲気明るくする
- ・人付き合いが下手→自分の世界を大切に
- ・のんびりした→細かいことにこだわらない

【余韻のある締めくり⇒自分のお子さんの顔を思い出してみましょう・・・】

<アンケートより>

- ・同じ出来事でも人によって意味合いが違うことを実感しました。自分(親)のこだわりを押し付けて、できない子=ダメな子ということになってしまっている気がしました。
- ・コロナのこともあり、否定的な言い回しが多くなってしまっています。肯定的な言葉や楽しい話題など、楽しい時間が過ごせる工夫をしていきたいです。



・保護者に学んでいただきたい質の高い講話を厳選して学習課題をあらかじめ5つ設定し、選択肢を示している。そのことにより、学級生には講話を自己選択したという主体性が生まれる。



・家庭教育学級として「今年度は、いつ、どんな講師に、講話をお願いしようか?」という計画作成段階での講師選択の迷いが解消される。

また、講師手配や謝金、会場設営、駐車場の確保に至るまで、一連の事務的な手続きが一元化され、スリム化できる。

さらには、他学級と合同で聴講することにより、互いの学級間での交流など、横の学びが期待できる。